

人工股関節寛骨臼シェルの変形試験

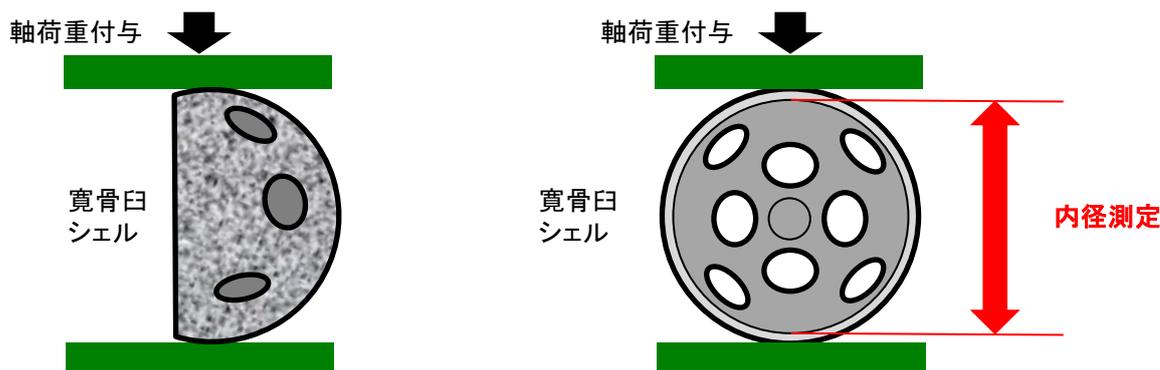
ISO 7206-12を参考に、寛骨臼シェルの変形特性を評価いたします。

測定技術の概要 (ISO 7206-12)

● 寛骨臼シェルの変形試験

寛骨臼シェルに対し、直径方向に定荷重を付与し、変形の有無を評価します。ご指定いただいた面内の直径部で、対称となる2点の内径を測定します。荷重付与前、荷重付与中、除荷後の3回測定し、測定値の差から変形量を求めます。

試験規格	ISO 7206-12 “Implants for surgery — Partial and total hip joint prostheses — Part 12: Deformation test method for acetabular shells”
試験環境	室温、大気中
試験方法	荷重負荷前後のシェル内径の変化量測定
付与荷重	1 kN



シェルの内径変化量測定方法

寛骨臼コンポーネントの接続強さ試験 (ASTM F1820)

● 寛骨臼コンポーネントの接続強さ試験 (ASTM F1820) も実施できます。併せてご検討ください。

